

令和6年度



第51宮崎県高等学校総合体育大会
第67回宮崎県高等学校登山競技大会

期 日 : 令和6年5月24日(金)～5月27日(月)
会 場 : 霧島山系(高千穂峰・大浪池・韓国岳・白鳥山)

主 催 宮崎県高等学校体育連盟
宮 崎 県 教 育 委 員 会
後 援 公益財団法人 宮崎県スポーツ協会
宮崎県山岳・スポーツクライミング連盟
都 城 市
高 原 町
え び の 市

主管 宮崎県高等学校体育連盟登山専門部

目 次

大会役員	・・・・・・・・	2
大会競技役員	・・・・・・・・	3
大会要項	・・・・・・・・	4
大会日程	・・・・・・・・	6
開会式・閉会式・荒天対策	・・・・・・・・	7
出場校・監督・役員一覧	・・・・・・・・	8
選手名簿	・・・・・・・・	9
審査基準と指導目標	・・・・・・・・	11

大会役員

名誉会長	新原 祐治	宮崎県山岳・スポーツライミング連盟会長
会長	那須 雅博	宮崎県高等学校体育連盟会長
副会長	中村 恵子	宮崎県高等学校体育連盟副会長
々	香川 健二	々
々	岩切 正義	々
々	田村 宣行	々
々	渡辺 和徳	々
々	篠田 俊彦	宮崎県高等学校体育連登山専門部長
顧問	田中 裕久	宮崎県教育庁スポーツ振興課長
々	鬼束 雅史	宮崎県県立宮崎北高等学校長
々	山下 勉	宮崎県高等学校体育連盟都城支部長
委員長	黒木 章宏	宮崎県高等学校体育連盟理事長
副委員長	下村 真一	宮崎県高等学校体育連盟登山専門部専門委員長
々	久保 喬史	宮崎県高等学校体育連盟都城支部理事長
委員	有水 浩智	宮崎県高等学校体育連盟事務局
々	佐久間 英二	々
々	工藤 英世	々
々	池田 美華子	々
々	川村 明久	宮崎県高等学校体育連盟登山専門部専門委員
々	山本 悠太	々
々	杉田 岳士	々
々	東口 匡樹	々
々	小野 貴志	々

大会競技役員

競技委員長	下村真一
競技副委員長	川村明久
登山隊長	東口匡樹
副隊長	西野能史
審査委員長	杉田岳士
審査委員	山本悠太・寺田翔吾 河野智也・村田芳伸 立山春菜
設営隊長	小野貴志
設営隊	武田隆志・下村真一
支援隊長	川村明久
支援隊	森崎栄治・猪股秀一 堺弘太郎・外蘭和彦 黒木愛美・川村景子 上村洋二・長崎慧虎
コースサポート	宮崎県・山岳スポーツライミング連盟 落合睦子・狩長千伸 西嶋剛広・東幹之 新原祐治

14 登 山

大会名称 第51回宮崎県高等学校総合体育大会 第67回登山競技大会

兼全国高等学校総合体育大会・全九州体育大会宮崎県予選会

主催 宮崎県高等学校体育連盟・宮崎県教育委員会

後援 公益財団法人宮崎県スポーツ協会・宮崎県山岳・スポーツクライミング連盟
都城市・小林市・えびの市・高原町

主管 宮崎県高等学校体育連盟登山専門部

1 期 日 令和6年5月24日（金）～5月27日（月）

2 会 場 霧島山系

3 競技規則・競技方法

- (1) 審査方法並びに審査基準は、全国高等学校登山大会成績評価実施要領に準じる。
- (2) 選手と補欠との交代は、大会第1日の監督会議までとする。
- (3) 天気図作成はラジオ1号用紙で行い、気象課題については統一学習資料「登山と気象知識」から出題する。

4 引率・監督

- (1) 引率責任者は校長の認める当該校の職員とする。
- (2) 監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。ただし、外部指導者について各競技専門部における規程が定められ、監督・コーチが上記の基準より限定された範囲内であれば、その規程に従うことを原則とする。

5 参加資格

- (1) 選手は宮崎県高等学校体育連盟に加盟している高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
- (2) 年齢は平成17年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (3) チームの編成において、全日制課程と定時制・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (4) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加は認める。
- (5) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）ただし、一家転住等やむを得ない場合は、所属高等学校長の申請により宮崎県高体連会長の認可があればこの限りでない。
- (6) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
- (7) 上記の条件に違反した場合、または高等学校生徒として品位を保てない場合等には、出場を取り消すことがある。
- (8) 参加資格特例
上記(1)に定める生徒以外の参加については宮崎県高等学校総合体育大会開催基準要項のとおりとする。

6 パーティの編成

- (1) 1パーティの構成は4名とする。内1名はリーダーであること。
- (2) 同一校におけるパーティ数は制限しない。
- (3) 補欠の参加を認める。ただし、大会期間中は競技大会本部の掌握下におかれる。
- (4) 外国人留学生の参加を認める。

7 表 彰

男子3位、女子3位まで表彰する。

8 参加申込

所定の申込み用紙により2部作成し、郵送にて申し込むこと。

申し込み先：〒885-0033 都城市妻ヶ丘町27-15 都城泉ヶ丘高等学校内

宮崎県高体連登山専門部 専門委員長 下村真一

申込締切日 令和6年4月26日（金）必着 締切り後は受け付けない。

9 競技日程

開会式 5月24日（金）13:00～ 高原町旧高原中学校体育館

閉会式 5月27日（月）10:00～ えびの高原荘

5月24日（金）旧高原中学校体育館（集合・受付・開会式）＝（バス）＝御池青少年自然の家（幕営）

5月25日（土）幕営地＝（バス）＝霧島神宮～高千穂河原～高千穂峰～高千穂河原

＝（バス）＝幕営地（幕営）

5月26日（日）幕営地＝（バス）＝いわさきバス駐車場～大浪池登山古道入口～大浪池登山口

～大浪池展望所～韓国岳避難小屋～韓国岳山頂～五合目～えびの高原駐車場

～白鳥山登山口～二湖パノラマ展望台～白鳥山～白鳥山北展望台

～白鳥山北登山口～白鳥山登山口～えびの高原駐車場～宿舎（宿泊）

5月27日（月）宿舎（閉会式・解散）

10 参加料 （1）1人400円とする。

（2）徴収方法は、各学校の指示に従うこと。参加料の納入は、高体連発番の文書に従い、学校単位で行うこと。

11 経費

選手一人6,000円（バス輸送費・荷物輸送費等）

宿泊費 えびの高原荘 8,800円（1泊2食）

12 会議

専門委員会・監督会 5月7日（火）午前10時・・・都城泉ヶ丘高校

13 資格取得

男子、女子とも1位は全国大会出場資格、男子1位・2位、女子1位は全九州大会の出場資格を得る。

14 連絡事項

（1）競技中の疾病、傷害等の応急処置は主管側で行うが、その後は日本スポーツ振興センターの規定に従って各学校で処置すること。

（2）参加者は健康保険証を持参すること。

（3）大会に必要な装備は各パーティで持参すること。

（4）参加選手は、服装にチーム名・氏名を、また、ザック・ザックカバーにチーム名を、帽子正面にチーム番号を明記すること。

（5）ゴミは原則として持ち帰りとする。

（6）参加者はゼルブストザイル1本、カラビナ1個を持参すること。

（7）救急法・結索法テストを実施する。

（8）害虫対策・防雨対策に十分配慮のこと。

（9）1:25,000地形図「韓国岳」「霧島温泉」「日向小林」「高千穂峰」または、同縮尺の地図を持参すること。

（10）状況により予定を変更することがある。

※ 高体連大会で取り扱う個人情報については、要覧記載の「宮崎県高等学校体育連盟個人情報保護方針」に則る。

大会日程

日 時間	5月24日(金)	5月25日(土)	5月26日(日)	5月27日(月)
4:00		起床	起床	
5:00		集合(5:50)	集合(5:50)	
6:00		バス乗車	バス乗車	起床
7:00		霧島神宮 登山開始	いわさきバス駐車場 登山開始	朝食(レストラン)
8:00		(チーム行動)	(チーム行動)	
9:00			大浪池登出口	交流会
10:00		高千穂河原(CP)	大浪池展望所	閉会式
11:00		御鉢の肩 背門丘 高千穂峰	韓国岳避難小屋	解散
12:00	役員会議		韓国岳	
13:00	開会式 審査開始	高千穂河原 バス乗車	えびの高原	
14:00		幕営地到着	白鳥山 白紫池	
15:00	バス移動	幕営	えびの高原 宿舎到着	
16:00	幕営			
17:00	炊事	炊事	入浴	
18:00			夕食(レストラン)	
19:00	リーダー会議	リーダー会議	リーダー会議	
20:00				
21:00	就寝	就寝	就寝	

開会式 5月24日(金) 13:00～ 旧高原中学校体育館

◎式次第(進行:専門委員)

1. 開会宣言(進行)
2. 優勝旗返還(宮崎大宮高校)
3. 登山部長あいさつ
4. 選手代表宣誓(都城泉ヶ丘高校)
5. 競技上の注意(審査委員長)
6. 競技役員紹介(登山隊長)
7. 閉会の言葉(進行)
8. 諸連絡

閉会式 5月27日(月) 10:00～ えびの高原荘

◎式次第(進行:専門委員)

1. 開会宣言(進行)
2. 講評ならびに成績発表(審査委員長)
3. 表彰
4. 登山部長あいさつ
5. 閉会の言葉(進行)
6. 諸連絡

荒天対策

当日の天候・登山道の状況によりコース変更、コースカット、行動中止もある。

選手名簿

延岡工業

	氏名	学年
リーダー	佐藤 駿輝	3
選手	金井 柊大	2
々	姫田 采	2
々	黒田 禮	2
補欠	川井 向日葵	2

宮崎大宮A

	氏名	学年
リーダー	黒木 壮人	3
選手	中村 駿太	3
々	坪井 康太朗	2
々	小林 凜	2
補欠	齋藤 崇希	2

宮崎大宮B

	氏名	学年
リーダー	戸敷 拓朗	3
選手	松本 英大	3
々	山岡 春陽	3
々	佐藤 陽生	2

宮崎大宮C

	氏名	学年
リーダー	岩元 英誠	2
選手	川口 慎	2
々	櫻川 湮大	2
々	佐藤 智生	2
補欠	中村 勇翔	2

都城泉ヶ丘A

	氏名	学年
リーダー	上村 大洋	3
選手	松葉 幸信	3
々	野元 利矩	3
々	木上 裕太	3
補欠	西畑 宗一郎	1

都城泉ヶ丘B

	氏名	学年
リーダー	川内 悠輔	3
選手	安平 颯貴	3
々	江藤 海輝	3
々	小林 実尋	3
補欠	中井上 大輝	3

都城西

	氏名	学年
リーダー	脇田 翔瑠	3
選手	有馬 一翔	2
々	菱口 泉樹	2
々	福田 倅生	2

都城工業A

	氏名	学年
リーダー	池田光流	3
選手	福島太陽	3
々	徳丸朔耶	3
々	山田隼輝	3

都城工業B

	氏名	学年
リーダー	吉川琴羽	3
選手	二見日々輝	3
々	平田琉輝	1
々	瀬之口慶二	1

都城工業C

	氏名	学年
リーダー	滝田琉生	3
選手	坂元律公	1
々	立本怜	1
々	豊秀春麻	1

都城工業D

	氏名	学年
リーダー	中村惺哉	3
選手	上野桐	1
々	福田侑太	1
々	綿屋修太	1

小林A

	氏名	学年
リーダー	西隆吾	2
選手	泊和真	2
々	徳丸直希	2

小林B

	氏名	学年
リーダー	山内祥太	2
選手	吉國暁生	2
々	本多琉誠	1

女子隊

宮崎大宮A

	氏名	学年
リーダー	楠原 瑞歩	3
選手	石門 杏	3
々	東長 由莉	2
々	秋野 那緒	2

宮崎大宮B

	氏名	学年
リーダー	新徳 咲希	3
選手	橋本 彩花	3
々	池袋 凜	2
々	水永 光奏	2
補欠	石原 茉奈	2

宮崎西A

	氏名	学年
リーダー	山下 ちひろ	3
選手	長友 怜央奈	3
々	東瀬 天音	3
々	飛佐 侑奈	1

宮崎西B

	氏名	学年
リーダー	小松 千紘	2
選手	村上 はるな	2
々	船橋 七瀬	2
々	曳田 和奏	1
補欠	鎌田 真衣	1

都城泉ヶ丘A

	氏名	学年
リーダー	櫻井 雪乃	3
選手	宮里 莉菜	3
々	松山 和佳奈	1
々	山元 杏紗	1

都城泉ヶ丘B

	氏名	学年
リーダー	今泉 ひなた	1
選手	坂元 美月	1
々	江夏 妃奈乃	1

都城西

	氏名	学年
リーダー	荒武 夏帆	1
選手	上田 乙葉	1
々		

都城工業

	氏名	学年
リーダー	大石 とわ	2
選手	壽福 結音	1
々	浦上 紗那	1

全国高等学校登山大会成績評価実施要領

全国高体連登山専門部

全国高等学校総合体育大会は、高校における各種スポーツの振興をはかり、その健全な発展のために開催される。全国高等学校登山大会もその一部門として、総合体育大会との関連において運営されなければならない。この登山大会は、正しい高校登山の在り方を求め、その着実な展開と研究を主目的として安全登山を推進するものである。この登山大会の成績評価は、単に優勝を競い順位を争うためのものではなく、大会の主旨を尊重し、登山の基礎的な技術・態度を着実に実践できることを主眼として下記の基準によって行うものである。

全国高等学校登山大会＜審査基準と指導目標＞

区分	審査項目	審査内容	指導目標	審査細目
I 行 動 (50点)	1 体 力 (40点)	・その山行にふさわしい体力がある。	・持久力のある体力を持ち、山になれた歩行ができる。 ・スタミナの配分を心得、安全・確実な登山を楽しむ余裕をもつ。	・持久力。 ・スタミナの配分。 ・リズム、スピード、バランス。 ・チーム内、チーム間の適度な間隔。 上記について留意し、定められたコースを登山し総合的に評価する。
	2 歩行技術 (10点)	・安全確実な歩行技術が身についている。		・歩行バランス。 ・適度な歩幅。 ・スリップ、転倒をしない。 ・走らない。 ・リズムカルな歩行。
II 生 活 技 術 (15点)	3 装 備 (5点)	・必要品の所持。 ・その数量と保安が適切である。	・必要品の所持とその数量が適切であり、合理的な収納、パッキングを行うことができる。 ・身体保護のための適切な服装着用ができる。	(注)アンダーラインは個々に防水する携行品 (注)○印はサブザック行動時に携行する装備品 ・共同携行品 テント一式(フライを含む)、○ツェルト 炊事用具一式、コンロ、燃料、 ○救急装備、○ラジオ、○温度計 予備食、○修理具、○裁縫用具 ・個人携行品 ○雨具(上下)、○防寒具、寝袋、 着替一式、○水筒、食器類、○細引 ○ヘッドランプ(予備電池・電球を含めて)、○計画書、○大会地図、○磁石 ○時計、○筆記具、○ナイフ、○呼笛 ○手袋、○マッチ、○ライター、 ○非常食、○行動食、ザック、 ザックカバー、○サブザック、 ○その他その山行に合った必要品 ・必要な救急装備の所持 ・服装 登山大会服装規定に従う。 登山靴、帽子の着用。 ・携行品の破損の有無
	4 設営・撤収 (5点)	・動作に無駄がなく、メンバーの連携と手順がよい。	・テントの仕様を理解し、強度を損なわず、特性を活かした適切な扱いができる。 ・安全に、かつ悪天時にも対応しうる適切な設営手順を身につける。	・指定時間内での設営、撤収。 ・手順。 ・ペグの位置、打ち込み、本数。 ・張り綱の適正な張り方。 ・設営中及び設営後のザック等の整理。 ・撤収後の整地
	5 炊 事 (5点)	・安全や衛生に配慮している。 ・食料計画が適切である。	・食料計画は栄養的知識に基づいた献立と調理法を理解し、行動計画に適合して工夫と応用ができる。	・コンロの正しい使い方。 ・安全への配慮。 ・燃料の量及び管理。 ・食料計画と実際の一致。 ・衛生的な調理。

Ⅲ 知識 (20点)	6 天気図 (4点)	<ul style="list-style-type: none"> ・天気図の作成・解析、天気予報ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気象に関する基礎的知識を持ち、天気図の作成と解析、天気予報ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地点の気象。 ・放送等圧線。 ・等圧線。 ・高気圧、低気圧、前線。 ・解析・予報。
	7 課題テスト (1)自然観察 課題テスト (4点) (2)救急課題 テスト (4点) (3)気象課題 テスト (4点)	<ul style="list-style-type: none"> ・登山に臨むうえでの基礎的な知識を有する。 ・会場となる山域についての基礎的な知識を有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じた適切な対応をとれるよう、実践的な知識を習得する。 ・対象となる山域について研究し、必要な知識を身につけて登山に臨む。 	<p>(1)(2)(3)共通課題として、予報第1号より、大会山域に関する基礎的な知識を問う。このほか、各課題テストでは次の内容で出題を行う。</p> <p>(1)登山を行う上での一般的な知識。</p> <p>(2)実地に対応できる基礎的救急処置の知識。</p> <p>(3)天気図等の情報の活用、観天望気を行うための基礎的な知識。</p>
	8 計画書 (2点)	<ul style="list-style-type: none"> ・登山計画書の記載が適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登山計画書の必須事項を適正に記載する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メンバー表（氏名、生年月日、住所、保護者、電話） ・緊急連絡先（留守本部、大会本部）、 ・日程表、荒天対策、概念図、断面図、 ・装備表（共同、個人分担表、重量）、 ・食料計画（献立、カロリー、分担、重量、 ・予備食、行動食、非常食）、救急装備表。
	9 行動記録 (2点)	<ul style="list-style-type: none"> ・行動記録の記載が適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事後に役立つ行動記録の記載をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主要地点の出発・到着時間、または通過時間、天気、コースの概況、自然観察（植生含む）、体調の記入。
Ⅳ 読図技術 (10点)	10 読図技術 (10点)	<ul style="list-style-type: none"> ・コース上の定点の位置が、地形図上で特定できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読図・地形の観察が現地で即応できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読図による地点確認。
Ⅴ マナー・自然保護 (5点)	11 マナー・自然保護 (5点)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然保護をわきまえ、マナー全般がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然保護をわきまえ、マナー全般にわたり良く、他の登山者への気配りができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の厳守（出発・集合・起床・就寝） ・休憩時のザック位置の配慮、マナー。 ・歩行中のマナー。 ・自然保護への配慮。 ・幕営地におけるマナー。 ・指示の遵守。

(平成 27 年 11 月改正、平成 30 年 11 月一部改訂)

連絡先

高体連事務局	宮崎市月見ヶ丘5丁目2番地1号 宮崎南高等学校内 TEL 0985-51-4109 FAX 0985-51-4298
高体連登山専門部	都城市妻ヶ丘町27-15 都城泉ヶ丘高等学校内 TEL 0986-23-0223 FAX 0986-24-5884
御池青少年自然の家	宮崎県都城市夏尾町5988-30 TEL 0986-33-1414 FAX 0986-33-1768
えびの高原荘	えびの市末永1489 TEL 0984-33-0161 FAX 0984-33-0114
大会本部(競技委員長)	TEL 090-1163-9001 下村真一
気象・火山情報	
宮崎地方気象台	技術課 0985-25-4031
警察・消防	
都城警察署	都城市東町4街区17号 TEL 0986-24-0110
小林警察署	小林市大字堤2928番地1 TEL 0984-23-0110
都城市消防局本部	都城市菖蒲原町19-7 TEL 0986-22-8882
西諸広域行政事務組合	小林市真方493 TEL 0984-23-0119
救急病院	
都城市郡医師会病院	都城市太郎坊町1364-1 TEL 0986-36-8300
国立病院機構都城医療センター	都城市祝吉町5033-1 TEL 0986-23-4111
国民健康保険高原病院	西諸県郡高原町大字西麓871 TEL 0984-42-1022
小林市立病院	小林市大字細野2235-3 TEL 0984-23-4711
園田病院	小林市堤3005-1 TEL 0984-22-2221
池田病院	小林市大字真方27-1 TEL 0984-23-3535
整形外科前原病院	小林市大字細野2033 TEL 0984-23-1711
森林管理署	
宮崎森林管理署都城支署	都城市立野町3655-1 TEL:0986(23)4566 FAX:0986(25)2603